

「杉並区版公民連携プラットフォームの仕組みについて」アンケート結果

問 15 プラットフォームについて、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

※提出された意見について、個人情報などを除き、原則として全文を掲載しています。

1	<p>地域活動をはじめたばかりのひよっこです。いろんな人が来ると思います。区民の声を聴く会に選挙に出る人が区民のふりで参加していたと聞きます。選挙前に顔を広められるので、区民のふりで参加をするのはずるいことです。区民のアイデアを求める会を開いても、同じことが起きると思います。このまえ、西荻窪の集会のときに区役所の人もみえましたが、意見もださずに帰ってしまいました。あまりやる気を感じませんでした。こういう感じであれば、地域と一緒にやる意味はないと思いますし、そういう職員さんばかりだと地域と一緒に活動はできないと思います。仕事でも学校でも意見をダス人は限られますし、でてきた意見を考えるのはもっと大変です。言いたい放題アイデアをだすだけだったら、区が作る必要もないとおもいます。意見をまとめるのも大変です。プラットフォームの図をみると、区の人にはアイデアや意見を聞くだけのようですけれど、私たちの夢をかねてくれたり、予算をつけたりはしないのですね。アイデアをだすばかりで実現は区民がやるのは、結局自分でやっているのと変わらないと思います。それとも区の人には先生のように、区民のアイデアを評価する役なのか教えてください。共同プラザは話をきいても解決はしてくれないです。誰かを紹介するといつて他人任せで、頼りにならないので、頼りにするのは先に活動をしている団体だったりします。プラットフォームはだれのためにつくるのかわからないのは私だけですか??新しい区長のために作るのですか??区民のために作るのなら、区民のためになるようにしてほしいです。</p>
2	<p>利用者と提供者をつなぐコンシェルジュが必要と考えます。紹介されたがイメージと違う、同じような提供者が多くどれが良いかわからない、システムの使い方がわからないを無くすためと、たらい回しを無くすためです</p>
3	<p>このアンケートを探すのに苦労しました、これはパブリックコメントになってないので探せませんでした。意見を出させたくないの意思がみえます。市民とあるのも区長のシンパのことですね、いっばんの区民の意見は聞かないつもりと思いました。子育てをしても親の意見を聞く機会はほとんどありません。杉並区役所政策経営部企画課はパワハラがあったと知ってます、そんな部署に区民の声をまとめ、地域の課題を解決できるとは思えません。行政職員がこのプラットフォームをすすめるのでしたら、アイデアをだしても実現できないですね。プラットフォームをつくるのが目的になっていて、運用に注意がそそがれていません。システムでは運用とメンテが大事ですから、企画課はなれていないとわかりました、残念ですね。親の意見を聞く機会はあったほうがよいですが、区長のシンパや古い親たちが集まる会にはいきたくないです。もっと区民に平等に接してほしいです、それとも最初からシンパ向けのプラットフォームを作るつもりなのかかわからないですが、危険性を感じます。アンケートを書いても伝わらないと思いますが、自分の税金がプランもたっていないプラットフォームに費やされて、親の意見を聞く機会もないのは嫌な気持ちになります。こえをきくという区長の言葉を信じて、シンパ以外の声も聞くように願いを込めてアンケートします!</p>
4	<p>1. この事業に参加してくれる地域住民への情報の届け方については、検討事項かと思う。町会、地域団体、企業、大学等にプラットフォームへの参加を呼びかけるためには、区のHPや区報のみで行うには、新しい取り組み故に参加に繋がりにくい懸念がある。丁寧な事業コンセプトを理解してもらえらるような、働きかけが求められる。2. 1に関連するが、地域への貢献の仕方や立場の異なる町会、地域団体、企業、大学等が同じテーブルで議論する際には、それぞれの立場を理解しファシリテートを行うことができる、中心を担える人物(機関)が求められる。3. 杉並区は、既に地域団体や企業と協働で地域課題の解決を目指す協働提案制度がある。今回のプラットフォームは、協働提案制度の位置づけよりも更に、地域住民参加型のしくみとして位置づけられたものだと感じた。まずは、始めてみるのが大事。そこから、しくみを構築していけると良いと思う。</p>
5	<p>個人事業主として活動していることもあり、協業によって地域への貢献やよりよいビジネスに繋がれることを期待します。</p>

6	<p>多様な主体における地域活動というのはぜひ目指していただきたいと思います。①多様な主体からの取組提示型については、区が協働するための支援を行うと書いてあるが具体的にどのようなことを想定しているのかが不明。協働を進めていくうえで企業と個人などがいきなりプロジェクトを実施していくのは難しいと感じる。区側には、PRの支援にとどまらず、プロジェクトの立ち上げから完了までの伴走支援や第三者によるチェック機能などを担ってもらいたい。②区からのアイデア募集型については、逆に今までしていなかったことに驚いている。ただし、行政の特性上予算が半年ほど前に決まっており、事業についてのアイデア募集といったときにどのくらいのスパンで実施され、どの程度の影響を及ぼすのかが全く分からない。結局、区側の意向は決まっており区民などからのアイデアをもらったという体になってしまうのではないかと危惧している。具体的にどのような区側の課題があり、そこに対してどの程度の範囲でアイデアを求めるのかを示してほしい。また、実施主体には全くならずにアイデアだけを募集することがどれだけ事業に影響するのか。</p>
7	<p>杉並区の協働提案は協働プラザの方が牽引していました。若い人の力でこうして区が本格的に経堂提案に向き合うのはうれしいことです。まだまだ、企画をすすめていて完全なものではないと推察しますが、区はどのように参加されるのか気になっています。協働提案をすすめていても、最終的に区があれやこれや、やらない理由を述べて協働にいたっていませんでした。私たちもずっと提案していても、結局は区が不承知や不参加でいっこうに協働は進みませんでした。ところが、一方的に委託事業をさせるときだけ、区からお願いがきます。高齢者は無料で使える人材と思っているのと思います。アイデアをだしてもむだになるのでしたら、アイデアはだしたくないです。区民が集まる集会はたくさんありますが、どれも声の大きい人がでしゃばります。区民参加はどうすすめるのか、区役所のなかでも決まっていないのではないですか。区の人で司会がうまい人を見たことないです。それだけ区民に会っていない証拠だと思います。区長は対話を大事にしているので、これも読んでくれると願っていますが、聞くだけではなく区のために良くしてほしいと願っています。</p>
8	<p>事業の中でも例えば「たすけあいネットワーク」は、学齢期の保護者にはほとんど存在を知られていません。高齢者に限らず、例えば学童保育や、支援級で、1人ではお留守番できない子どものためにも冷蔵庫に入れるカプセルの配布をして、申し込みを募るなどして、啓発を促すことで、保護者がこの事業を知るのことができます。あんしん協力員に子育て世代が関わることもできるので、配布や説明は区の職員や予算も利用すればよいと思います。主婦仲間で、まちづくり団体になったことがあります。区からは「区の持っているスキルを使ってもいいよ」と言っていたけれど、何からお願いしたら良いのか分からなくて、もっと区のほうから積極的に持ちかけてもらえたらよかったです。区は窓口で待っているだけなので、いろいろ助けてもらいたかったです。解決したい社会課題というのは、いまオモテに見えているような、声の大きな人の困り事というよりも、自分では声も出せない人たちの声のことだと思います。区や企業から積極的に丁寧にリサーチが必要だと思います。本当の声を抜きにして課題として設定できないと思います。今の声の聞き方では足りなくて、やはりアナログで人が寄り添いながら聞き出す必要があります。そのためには、例えば、子どもたちの本音を聴くことを、やらねばなりません。紙や学校が作るアンケートでは、声は拾っていません。小学校入学したての子どもたちのためや、障害児の移動支援のヘルパー等に、柔軟性のある大学生を支援員として有償で雇い、または、無償なら大学の単位になるなどのインセンティブをつける等、そして、区が大学のことを広報したり支援することで、区が人材を育成するよりも即戦力になるはず。こうしたことを実現するための協働なので、区は積極的に、街に出たり、個別の案件の相談を受けるような仕組みにしてもらいたいです。</p>

9	絵に描いた餅と正月休みらしく感じた。地域と繋がりもない役所が行うのは現実的ではない。役所の中から出てこないのに、どうして地域と関わることができよう。官民連携とは、民間だけが集まるプラットフォームを指すのか。役所は最初から関わらないようにしているのは、出来ないことをわかっているからか、4年で終わる区長のために新たな事業をしたくないからか。役所のやる気が丸で見えない。東京都は民間の人材を登用しているが、杉並区はどうか。有能なシニアはたくさんおり、シニアと若手を繋げる人物もいる。このプラットフォームは、現在の杉並区の人材を活かすようにみえるが、実際は運営もアイデアを出すのも民間任せになっている。役所は管理するつもりなのか。市民からの意見を吸い上げようと貴族のような姿勢だ。改善を強くもとめる
10	新区長が作ったと思えないほどお粗末な内容であきれています。区長は市民参加を訴えていても、肝心の杉並区の職員が参加する姿勢が見えません。地域の課題を、地域の団体が解決をしてきました。区が参加しないで、一体何のための公民連携なのですか。私たち地域の団体と関わるのは面倒ですか？このプラットフォームは新区長を応援する人々など特定の人しか参加できないような仕組みなのですか？話し合いは地域の住人で行い、解決するのは杉並区の職員が行うとっているようで、区民には解決できないと思っているのと同じです。地域の団体は長い間、杉並区のあらゆることに携わってきました。ようやく地域の団体と杉並区が手を取り合って対等に社会課題に向き合えると期待していました。区は残念ですけど、私たち地域の団体や区民と向き合う意識はないようですね。話す場をつくれれば、区民が満足すると思っているのですか？アイデアがあっても、区が協力しなければ、予算をつけなくては地域の課題は解決できないです。
11	新たに場を創って行くよりも、今ある協議体の目的等の再確認をし、再構築や見直しを行いながら、お互いが連携して行く事が大切だと思います。正に縦割り行政に如何に横串を刺して行くか？だと思います。そして参加者自身もお互いの現状を知る事から始めて、一緒にその課題解決に向かって考える姿勢が重要です。お互い様の杉並にして行きたいです。
12	ぜひ使いやすいUIであることを希望いたします。パソコン、タブレット、スマートフォンそれぞれの画面に最適化された見やすい画面になることを希望いたします。高齢者が画面を拡大して利用できるように、アプリではなくWEBサービスとしての展開を希望いたします。
13	一定の組織内でうまく発揮できない隠れた才能をもっている人、多いと思う。個々の好奇心や能力が思いがけず地域社会に生かせる場があるとすれば素敵なこと。ただどうすればよいのか具体的なしるべがあると助かります。
14	区のホームページはごちゃごちゃし過ぎ。簡単に情報を得られるようにしてほしい。
15	地域活動に関し情報を教えられるコンシェルジュのような役割を果たせる方が必要です。特にサラリーマン卒業生は自分が何をやれるか、自分に適した活動とは何かがわかりません。このような方々に有益なアドバイスできる方の存在が必要だと思います。
16	地域の中に、テーマに特化したものではなく、地域全体のことを扱うプラットフォームがあることはとても重要だと思います。しかし、多様なニーズ・多様な背景を持つ人たちが暮らす町なので、それらが共存できる余白を持たせる設計と、そのあそびを含めて、しっかりと全体をマネジメントできる人が中心部を担えるかということがポイントになると思います。区役所の方がそのマネジメントをされるのであれば、従来型の行政の考え方では難しい側面もあるのではないかと思います。
17	アイデア出しだけでは、言いっぱなしになって具体的に何も動かない。個人であっても「言い出しっぺ」として責任を持ち、主体的に動く覚悟が必要と個人的には考えている。アイデアやスキルのある個人や団体が「お任せ」ではなく我が事として動ける仕組みを希望します。
18	都市 os のようなデジタル連携基盤を構築して、杉並区なりのスマートシティを目指して下さい。

19	<p>地域課題への活動を実践してきた中で支援者の地域での繋がり、行政との繋がり、住民との繋がりがコロナ禍でより断裂された状態になっている状況です。地域によってカラーが違い課題も違います。地域の中で問題意識がある人たちが話し合い、地域を担っている方々と共有し区と共に地域での連携ができるシステムができれば良いと思います。その時に地域では縦割り行政の会議体が沢山あります。既存した会議体の見直しが必要です。また、地域情報に精通したコーディネート役が上手くコーディネートしていかないと難しさを感じます。住民の地域づくりに主体的に関わる意識をどのように広げて行くかが課題だと思います。サービスに慣れてしまっている住民が地域づくりの主体となると意識変容が必要と考えます。その取り組みも地域毎に話し合いアイデア出しのプロセスを大切にしていける事が重要と考えます。</p>
20	<p>「前向きに手を取り合うことのできるアイデア」と「世代や知性、豊かさなどの共通属性集合体から生まれるそれぞれの思想、私利私欲」は時に紙一重であると思う。真に区を「すべての人にとって」よいものにしていく気概のある人々が手を取り合えるように願いたい。</p>